

# 令和8年度 目黒区立緑ヶ丘小学校 学校グランドデザイン

## 各種調査等による実態

### 〔学校の実態〕

- 9学級  
児童数213名
- 教員13名(男6女7)  
主幹教諭(2)  
主任教諭(5)  
教諭(6)
- 平均年齢 44歳

### 〔児童の実態〕

- 目黒区学力調査  
区の平均を少し下回る学年・教科がある。二極化している。
- 四者による学校評価  
「学校は楽しいですか」肯定的な回答 95%  
「学校の勉強は分かりますか」肯定的な回答 90%
- 体力調査  
長座体前屈は全国平均以上。握力は、全国平均以下。
- 進路  
私立中学校に約40%の児童が進学している。

### 〔教員の実態〕

- 四者による学校評価  
「教員の働き方改革」肯定的な回答81.3%

### 〔保護者・地域の実態〕

- 四者による学校評価  
保護者の肯定的評価は91%、下降傾向にある。  
地域の方からの肯定的評価は、92%、少し上昇している。

## 校長の経営方針

### 〔基本方針・取組の重点〕

- 自己のよさや可能性を見だし、互いにかかわり合い磨き合う児童の育成

すべての子どもに学ぶ喜びを

健康でたくましい心と体を

人に優しく、共に生きようとする心を

地域を愛し、誇りとする心を

## 目指す児童像

「自己のよさや可能性を見だし、他者と協働しながら社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる人間性豊かな児童」

- ◎かしこい子(確かな学力)  
主体的・対話的で深い学び、自己選択学習の時間、学び合いの工夫
- やさしい子(豊かな心)  
かかわりを大切に授業、自他を尊重し互いを認め合う心の育成
- たくましい子(健やかな身体)  
継続的に体力向上に取り組む、自己有用感や所属意識を高める

### 〔指導の重点〕

- 学習指導  
・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る  
・学びを自己選択・自己決定する  
・教科担任制や交換授業に取り組む
- 生活指導  
・心身の発達に応じた生活習慣の向上  
・自他を尊重し、認め合う心の育成  
・異学年、異校種、北郷小との交流  
・学びをつなぐこ幼保小中の連携

### 〔生み出した時間の活用〕

- 児童  
・個別指導や個別相談の機会  
・パワーアップタイム、縦割り班活動  
・児童が自分の時間をデザインする
- 教職員  
・児童、教材と向き合う時間の創出  
・事業力、指導力を高める自己研鑽  
・校内研究、校外での研修の充実

### 改善検討組織

- 管理職・主幹ミーティング
- 職員会議
- 3部会

※定期的な開催・夕会等での発信



## 40分授業午前5時間制を生かしたPDCA

### 生み出した時間の有効活用

### 自己選択学習の時間

#### のびっこタイム(毎週金曜5校時)

- 自律した学習者をはぐくむ  
・可能性を引き出し探究する力をはぐくむ。  
・試行錯誤し、問題解決力を身に付ける  
・児童が柔軟に学びを選択し自己決定する。  
・主体的に学ぶ姿勢を伸ばす。
- 自己効力感の向上に向けて(3年次)  
・日常の学習の中で問いをもち、学びのゴールを設定し、見通しをもって取り組む。  
・自ら 内容・方法・進捗を選択する。  
・学びのゴールに近付いた達成感を味わう。  
・自分で考え、自分なりの答えを探究して見いだす。  
・学びの質が向上する。「勉強」から「学び」へ。

### 児童の学びや生活の質の向上

#### 児童の心を耕す 心を磨く

- 異学年とのかかわりから心を耕す  
・学級遊び・学年遊び「ふれあい」  
・縦割り班交流集会、集会活動  
・2学年合同、兄弟学年での学習や行事
- 多様な人とかかわりから心を磨く  
・自己有用感を高め、自己実現を図る  
・角田市立北郷小学校との交流  
・ケニア大使館との交流
- つながる教育で未来をつくる  
・中学校区でのこ幼保小中の連携の推進  
・安心して入学・進学できる接続期の連携強化  
・指導観、学習環境等の共通理解

### 自己選択学習

#### 学びを主体的に調整する

- 自分の思考や行動を客観的に把握する。
- 学習を自己調整する。
- 思考や行動を修正する。
- 次の思考や行動につなげる。
- 学習課題に対して、意欲的に解決する。  
・自分で学習の計画を立てる。  
・見通しをもって、教材や学習資料を活用する。  
・自分で学習内容や方法、学習進捗を調整する。
- 主体的に学ぶ姿勢をはぐくむ  
・興味・関心をもって学習に向かう。  
・目的や目標、学習の見通しをもって取り組む。  
・自分にあった学習方法を選ぶ。  
・学習方法を工夫したり、変更したりする。  
・友達と協働して学習を進める。  
・学習状況を振り返り、次の学習に活かす。

### 各教科における自己選択学習

#### 自己調整力をはぐくむ手立て 自己調整力をはぐくむ学習展開の工夫

- 単元設計と事前指導  
・一人学びができる教科や単元を決める。  
・児童の実態に応じた流れや時間数を決める。  
・オリエンテーションを行う。  
・学習の手引きや学習シートを作成する。  
・実験等の安全性を考慮して学習の場を準備する。  
・一人学びができる情報や解説を準備する。
- 教師の役割  
・児童の学習過程を見取り、自己調整を価値付ける  
・学習環境を整え、判断を促す問いになる。

### 就学前教育と小学校教育の円滑な接続

#### 子どもの学びと育ちをつなぐ

- 幼児教育と小学校教育の相互理解  
・互いの教育の特徴を知り、理解する。  
・相互理解の土台作り  
・年間研究・研修計画、研究だよりの作成  
・互いの校種の教育内容、カリキュラムの理解  
・子ども観、環境構成、具体的な取組の理解  
・接続を推進する組織体制の構築  
・相互の授業参観や合同研修会の実施
- 学びと育ち(生活)のつながりを探る  
(目黒区教育開発指定校1年次・2年次)  
・こども園の「遊びを通した総合的な指導」や「環境を通した教育」が、小学校の教科学習にどのようにつながるのか。  
・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活かし、「育ちの接続カリキュラム」の試作。  
・5歳児の指導計画と第1学年の各教科とのつながりを活かした「スタートカリキュラム」の作成。  
・第1学年の入学当初の教育活動の実施状況を振り返り、見直しを行いながら「幼保小の架け橋プログラム」に活かす。
- 安心をつくる環境づくり  
・心理的に安全な環境づくり・学級づくり  
・自ら学びを広げていける環境づくり  
・5月の連休まで1校時を裁量の時間(マイタイム)
- 就学前の児童・保護者とのつながり  
・こども園・保育園との「とも遊び」の拡充  
・こども園・保育園との保幼小協議会への参加  
・西地区保育園との連絡会の実施  
・こども園・保育園の保護者とのかけはし CAFE  
・就学前の保護者に向けた学校公開

### 各学年の時数内訳

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
標準授業時数	865	925	980	1015	1015	1015
学校裁量	102	87.5	73.5	79	91.5	85
行事時数	44.5	44.5	46.5	66	75	78.5
総時数	1011.5	1057	1100	1160	1181.5	1178.5
週当たりコマ数	25(26)	26(27)	27	29(30)	29(30)	29(30)